



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 GMOアドパートナーズ株式会社
 コード番号 4784 URL <http://www.gmo-ap.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 橋口 誠
 (氏名) 森竹 正明
 TEL 03-5728-7900

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	8,517	8.7	209	51.6	205	34.7	106	80.5
28年12月期第1四半期	7,836	△4.7	138	△30.6	152	△24.2	58	32.5

(注)包括利益 29年12月期第1四半期 97百万円 (55.3%) 28年12月期第1四半期 62百万円 (△51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	6.47	6.44
28年12月期第1四半期	3.59	3.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	11,114	4,938	41.6	280.34
28年12月期	10,668	4,833	42.2	274.02

(参考)自己資本 29年12月期第1四半期 4,618百万円 28年12月期 4,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	4.40	4.40

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	34,000	11.5	550	107.9	560	103.2	142	—	8.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Concierge Co.Ltd

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	16,757,200 株	28年12月期	16,757,200 株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	283,400 株	28年12月期	326,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	16,441,496 株	28年12月期1Q	16,410,989 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因に大きく異なる可能性があります。業績予想については(添付資料)3ページ「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、この決算短信の提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部経済指標に足踏みがみられるものの、企業収益の改善と雇用・所得環境の改善が進む中、政府・日銀の各種経済政策・金融政策により、総じて緩やかな回復基調となりました。また、米国・欧州の政治情勢や足許の地政学リスクの高まりが海外経済および金融資本市場の不確実性の一因として認められるものの、アジアをはじめとした海外経済全体も緩やかな回復基調にあり、マクロ経済見通しは内外ともに持ち直し傾向となりました。

当社の事業領域であるインターネット広告市場につきましては、平成28年度の広告費が1兆3,100億円(前年比13.0%増)となり、テレビ広告に次ぐ市場として引き続き堅調な伸びを維持しております(株式会社電通調べ)。スマートフォン向け広告が市場成長のけん引役となりモバイルシフトが加速するとともに高機能化が進んだことに加え、データ、テクノロジーを重要視する広告主の増加によりインターネットメディアへのシフトは今後も拡大することが見込まれております。

このような環境下、当社グループは、「すべての人にインターネット」という企業理念のもと、インターネット広告事業におけるナンバーワンを目指し、これまで行ってきたテクノロジーシフトをはじめとする投資の果実を確実に獲得するべく事業にまい進してまいりました。

その結果、注力事業が順調に推移し、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は8,517百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は209百万円(前年同期比51.6%増)、経常利益は205百万円(前年同期比34.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円(前年同期比80.5%増)となりました。

当社はセグメント情報の利用者にとって明確で有用な情報開示を目的として、事業を「エージェンシー事業」および「メディア・アドテク事業」として区分しております。セグメント別の業績は次のとおりであります。

① エージェンシー事業

「エージェンシー事業」は、総合インターネット広告代理業を展開するGMO NIKKO株式会社、ウェブソリューションを提供するGMOソリューションパートナー株式会社等で構成されており、当社グループにおける広告主との主要な接点として、営業活動を主に担っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、GMO NIKKO株式会社では主力取引先からの大型受注があった他、成長市場の取引先様のニーズに適切に対応し売上増につなげる等の基礎的な営業活動が奏功し、またGMOソリューションパートナー株式会社でも外部施策を取り込んだ売上増により、事業全体として前年を上回り好調に推移をいたしました。

インターネット広告市場における成長領域・新商流を適時適切につかむことによって、今後も大きな成長を実現すべく事業活動を展開してまいります。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は6,876百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は347百万円(前年同期比79.0%増)となりました。

② メディア・アドテク事業

「メディア・アドテク事業」は主に、メディア様とのリレーションを基にアドプラットフォームの開発・運営を行うGMOアドマーケティング株式会社、日本語キーワード事業「JWord」の運営などデータ・テクノロジー領域での事業を推進するGMOインサイト株式会社で構成されており、当社グループにおけるアドテクノロジー商材・自社メディアの開発およびメディア様とのリレーション構築の要となっております。

当事業においては、スマートフォン向けアドネットワーク「AkaNe」やレコメンドウィジェット「TAXEL」といった新商材が市場成長の追い風を受けて順調に推移をしております。一方で既存商材のダウントレンドが継続しており、メディア・アドテク事業全体としては減収となっております。

今後も引き続き市場のニーズをとらえた商品開発・提供を行い、メディア・アドテク事業の成長に注力してまいります。

これらの結果、メディア・アドテク事業の売上高は2,278百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は47百万円（前年同期比57.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて446百万円増加し11,114百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加478百万円、現金及び預金の増加158百万円および、関係会社預け金の減少99百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて341百万円増加し6,176百万円となりました。これは、主に買掛金の増加583百万円、短期借入金の減少150百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて105百万円増加し4,938百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加118百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物」(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は3,434百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は276百万円(前年同期は142百万円の減少)となりました。

増加要因としては、主に税金等調整前四半期純利益203百万円、仕入債務の増加568百万円によるものであります。減少要因としては、主に売上債権の増加474百万円、関係会社整理損失引当金の減少75百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は60百万円(前年同期は88百万円の減少)となりました。

減少要因としては、主に無形固定資産の取得による支出36百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は154百万円(前年同期は17百万円の減少)となりました。

減少要因としては、主に短期借入金の減少による支出150百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月6日に公表しました平成29年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,804,551	2,962,934
受取手形及び売掛金	3,998,271	4,477,120
たな卸資産	9,749	3,876
繰延税金資産	84,784	70,725
関係会社預け金	1,170,442	1,071,234
その他	417,456	443,342
貸倒引当金	△110,259	△106,103
流動資産合計	8,374,996	8,923,130
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	144,122	138,994
工具、器具及び備品（純額）	105,663	101,566
有形固定資産合計	249,785	240,560
無形固定資産		
のれん	508,928	432,708
ソフトウェア	388,611	358,313
その他	84,845	94,626
無形固定資産合計	982,384	885,649
投資その他の資産		
投資有価証券	499,698	491,746
繰延税金資産	69,764	80,917
その他	501,025	501,623
貸倒引当金	△8,958	△8,808
投資その他の資産合計	1,061,531	1,065,478
固定資産合計	2,293,702	2,191,688
資産合計	10,668,698	11,114,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,357,994	3,941,686
短期借入金	900,000	750,000
未払金	353,749	250,659
未払法人税等	38,199	97,027
未払消費税等	359,032	279,872
繰延税金負債	3,767	—
賞与引当金	4,755	9,088
関係会社整理損失引当金	75,476	—
その他	572,439	655,969
流動負債合計	5,665,414	5,984,303
固定負債		
繰延税金負債	2,012	—
その他	167,548	191,713
固定負債合計	169,561	191,713
負債合計	5,834,975	6,176,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,568	1,301,568
資本剰余金	2,057,978	2,051,136
利益剰余金	1,108,976	1,227,777
自己株式	△74,712	△64,910
株主資本合計	4,393,810	4,515,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,470	102,652
為替換算調整勘定	4,172	—
その他の包括利益累計額合計	108,643	102,652
新株予約権	12,884	10,341
非支配株主持分	318,384	310,236
純資産合計	4,833,723	4,938,802
負債純資産合計	10,668,698	11,114,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	7,836,923	8,517,595
売上原価	6,074,936	6,703,029
売上総利益	1,761,986	1,814,566
販売費及び一般管理費		
役員報酬	74,798	68,472
給料	715,683	721,991
貸倒引当金繰入額	1,463	△3,960
賞与引当金繰入額	5,555	4,784
減価償却費	33,611	33,161
販売促進費	145,692	110,893
のれん償却額	78,296	76,219
その他	568,407	593,009
販売費及び一般管理費合計	1,623,508	1,604,573
営業利益	138,478	209,992
営業外収益		
受取利息	1,386	1,056
受取配当金	—	1,620
補助金収入	14,815	—
その他	7,033	1,689
営業外収益合計	23,235	4,366
営業外費用		
支払利息	1,817	1,158
為替差損	—	2,327
投資有価証券評価損	7,287	5,426
その他	310	359
営業外費用合計	9,415	9,272
経常利益	152,298	205,086
特別損失		
減損損失	—	1,405
関係会社株式評価損	1,477	—
特別損失合計	1,477	1,405
税金等調整前四半期純利益	150,820	203,681
法人税、住民税及び事業税	75,863	88,783
法人税等調整額	△887	11,789
法人税等合計	74,975	100,572
四半期純利益	75,844	103,108
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16,951	△3,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,893	106,308

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	75,844	103,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,729	△1,817
為替換算調整勘定	△11,593	△4,172
その他の包括利益合計	△13,323	△5,990
四半期包括利益	62,521	97,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,569	100,317
非支配株主に係る四半期包括利益	16,951	△3,199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	150,820	203,681
減価償却費	39,565	56,422
のれん償却額	78,296	76,219
減損損失	—	1,405
受取利息及び受取配当金	△1,386	△2,676
支払利息	1,817	1,158
投資有価証券評価損益(△は益)	8,765	5,426
その他の営業外損益(△は益)	△3,704	△1,330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,519	△3,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	△997	4,487
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,356	—
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△75,476
売上債権の増減額(△は増加)	△671,063	△474,738
仕入債務の増減額(△は減少)	607,746	568,175
預り保証金の増減額(△は減少)	29,050	23,550
その他	△72,863	△37,746
小計	169,211	344,598
利息及び配当金の受取額	1,385	2,579
利息の支払額	△1,666	△1,160
補助金の受取額	3,155	—
法人税等の支払額	△314,372	△69,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	△142,286	276,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,697	△11,158
無形固定資産の取得による支出	△51,617	△36,074
投資有価証券の取得による支出	—	△580
投資有価証券の売却及び償還による収入	21,582	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△6,003
その他	△29,975	△6,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,708	△60,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△150,000
配当金の支払額	△61	△26
非支配株主への配当金の支払額	△18,424	△10,948
ストックオプションの行使による収入	803	6,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,682	△154,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,860	△394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△261,538	61,809
現金及び現金同等物の期首残高	3,211,893	3,371,641
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	717
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,950,354	3,434,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,052,105	1,784,818	7,836,923	—	7,836,923
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,224	616,318	637,542	△637,542	—
計	6,073,329	2,401,136	8,474,466	△637,542	7,836,923
セグメント利益	194,304	111,741	306,045	△167,566	138,478

(注1) セグメント利益の調整額△167,566千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,867,702	1,649,892	8,517,595	—	8,517,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,517	628,864	637,382	△637,382	—
計	6,876,220	2,278,757	9,154,977	△637,382	8,517,595
セグメント利益	347,787	47,132	394,920	△184,927	209,992

(注1) セグメント利益の調整額△184,927千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。